

“食”に携わる全ての企業様のために ——

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ

フード業界の発展に貢献 ～

株式会社インフォーマート

2009年12月期

第2四半期決算説明資料



2009年7月28日

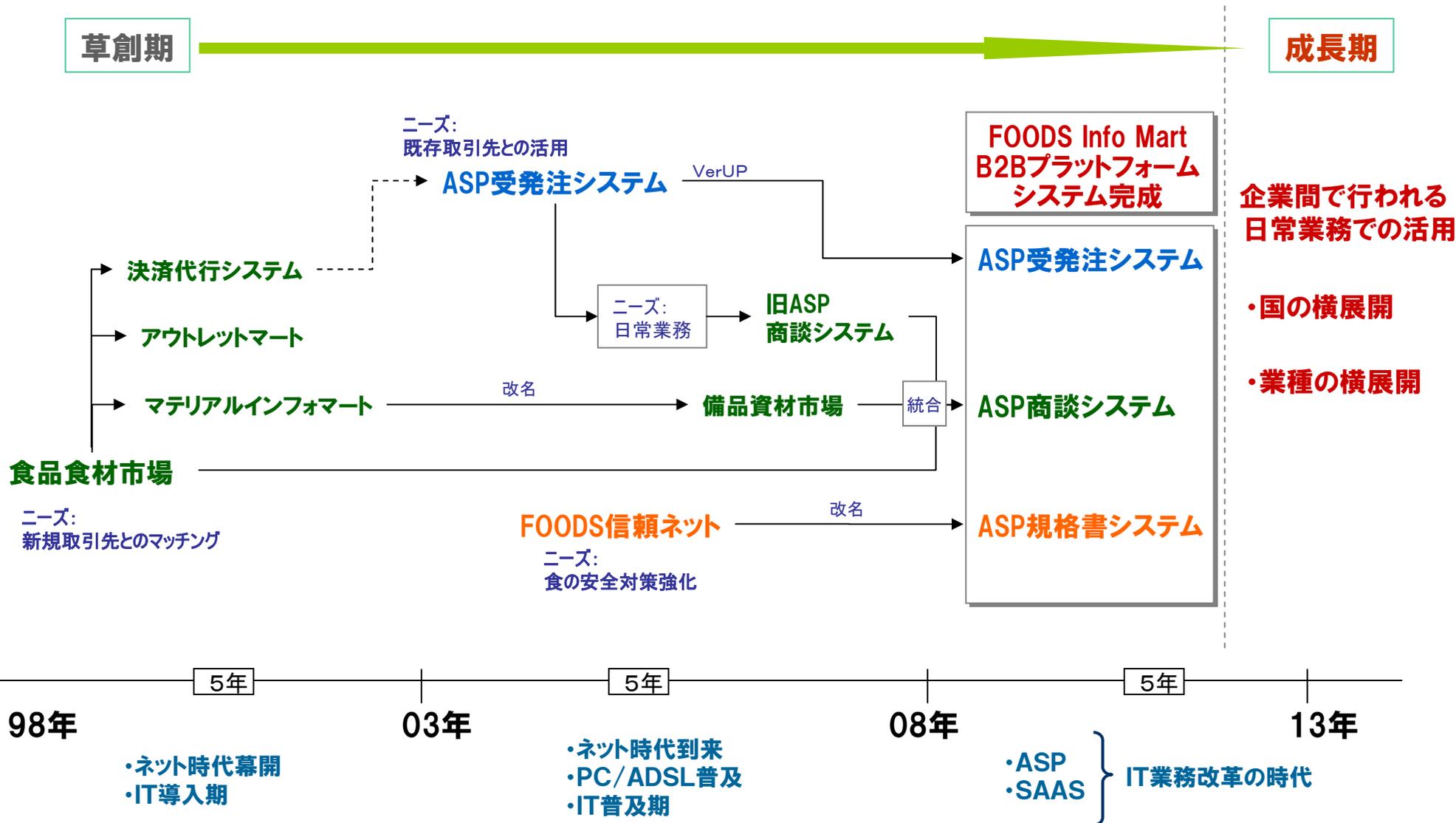
東証マザーズ(2492)

I. FOODS Info Mart 概要	・・・ P1
II. 2009年12月期 第2四半期決算	・・・ P4
III. 2009年12月期の計画	・・・ P19
IV. FOODS Info Martの海外展開	・・・ P24
V. 補足資料	・・・ P30



I . FOODS Info Mart 概要

～3システムが整ったFOODS Info Mart は、いよいよ成長期へと躍進いたします！～



買い手 利用企業

外食、ホテル・旅館、給食・惣菜、スーパー・小売、通信販売会社、卸売業 等

売り手 利用企業

卸売業、生鮮三品仲卸、製造・メーカー、生産者、商社、農協・漁協、特産品業者 等

システム	対象	変化	メリット
ASP商談システム	既存取引先 新規取引先 自社データベース	電話・FAX・紙  Web データベース	業務改善
ASP受発注システム	既存取引先		業務効率化
ASP規格書システム	既存取引先 自社データベース		コストダウン
			売上・購買強化

製(メーカー・製造)、配(卸)、販(外食、小売)向けの
取引先と取引先を結ぶ業務支援のBtoBプラットフォームを目指します！



Ⅱ . 2009年12月期 第2四半期決算

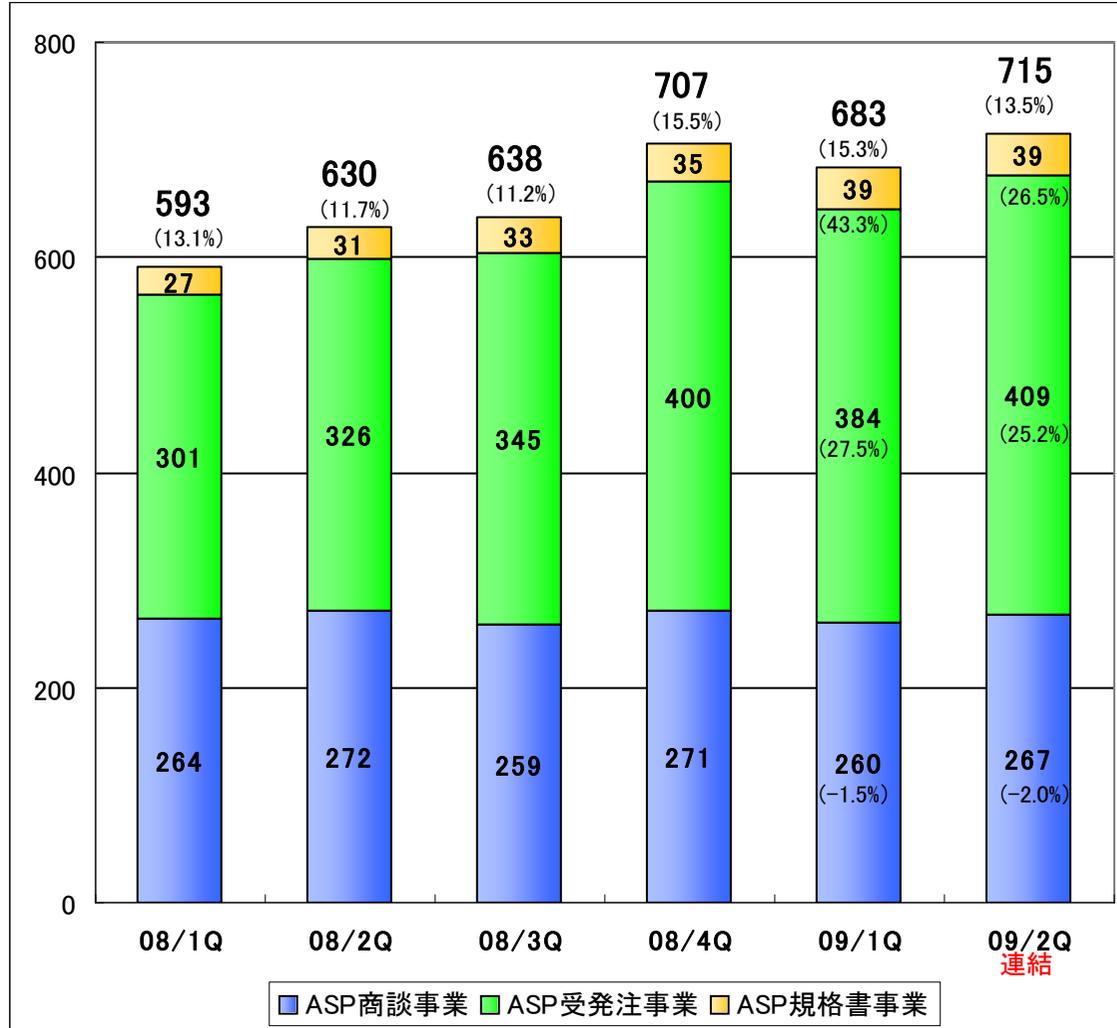
[連結決算の開始]

2009年5月に子会社「株式会社インフォーマートインターナショナル」を香港に設立したことにより、本第2四半期より「連結決算」となりました。

[事業の変更]

2009年1月より従来の「EMP事業」、「ASP事業」の2事業体制から、「ASP商談事業」、「ASP受発注事業」、「ASP規格書事業」の3事業体制へ変更となりました。

(単位:百万円)



※カッコ内%は前年同期比の増減率です。

(単位:百万円)

	08/12 2Q 単独	09/12 2Q 連結	増減率	08/12 上期 単独	09/12 上期 連結	増減率
売上高						
ASP商談	272	267	-2.0%	536	527	-1.8%
ASP受発注	326	409	25.2%	628	793	26.3%
ASP規格書	31	39	26.5%	58	78	34.3%
合計	630	715	13.5%	1,223	1,399	14.4%

〈ASP商談事業〉

「ASP商談システム」は、継続利用の顧客層の拡大を目的に「日常業務」での利用促進に注力しました。特に売り手企業の自社データベース構築のニーズが高く、商品カタログ数が大幅に増加しました。第2四半期では、新規数の増加と解約数の低減継続により、利用企業数の純減に歯止めがかかり、全体で純増となりました。

〈ASP受発注事業〉

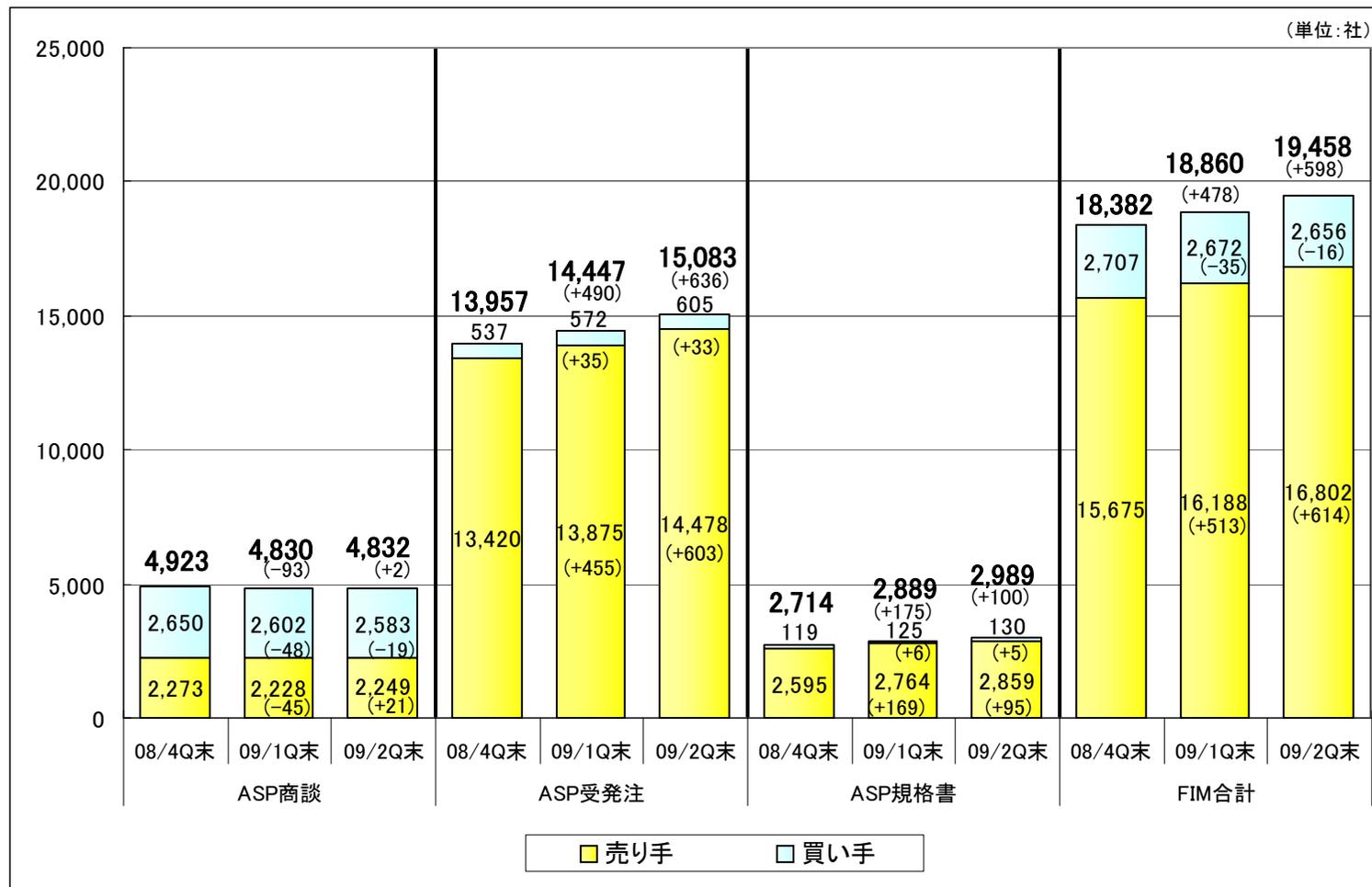
「ASP受発注システム」は、引続き新規稼動が好調です。今年度からのFC(フランチャイズ)機能の提供も加わり、買い手本部とその店舗数、取引先の売り手企業数が順調に増加しました。

〈ASP規格書事業〉

「ASP規格書システム」は、食の安心・安全の仕組みづくりへのニーズが継続し、利用が拡大しました。新規数は、第1四半期に比べ抑えられた数値ですが、7月のシステムリニューアル・9月の料金改定へ向けて準備した結果であり、通期では予定通りです。

※2Qでのインフォーマートインターナショナルの売上計上はありません。

「FOODS Info Mart」利用企業数、「ASP受発注システム」が牽引し、1万9千社を突破

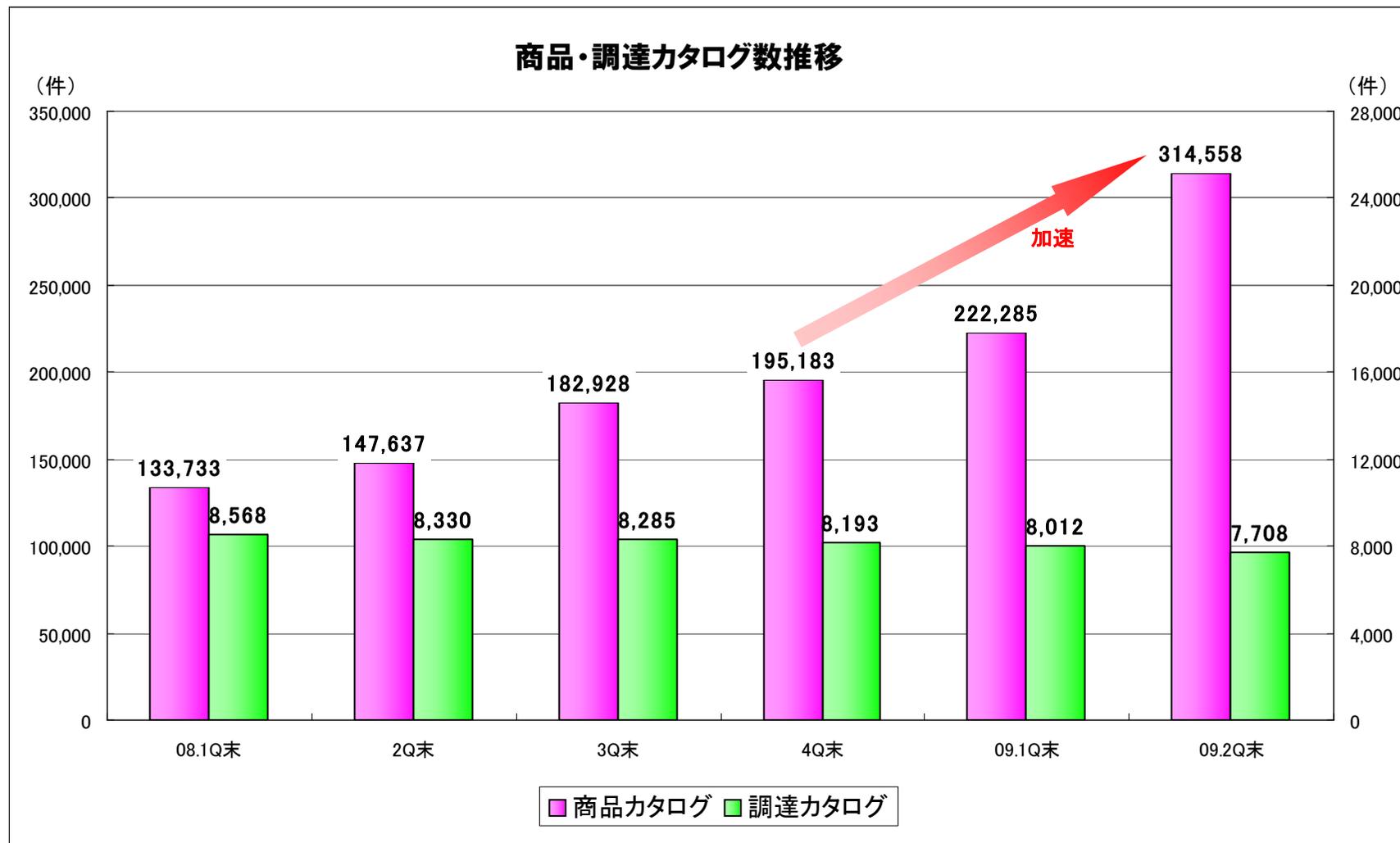


**FIM全体
利用企業数
中期目標
25,000社**

(注) 1. カッコ内は前四半期末比の増減数です。

2. 事業部門別の利用企業数は、各事業のシステムを利用する利用企業数の全体数を表示しており、「FOODS Info Mart」合計は、各事業のシステムにて重複する利用企業数を「調整値」として差し引き、正味の全体企業数を表示しております。

「日常業務」での利用を推進、売り手企業の商品カタログ数が大幅増加



売り手企業向けに「営業支援システム」として自社商品管理データベース機能を提供開始

業界における商品情報に関する課題

売り手企業は、取扱商品におけるパンフレットなどを所持しておらず、商品サンプルや見積提示による営業が中心。

買い手企業は、取引先の全取扱商品情報を把握できず困っている。

業界として商品情報のデータベース化への対応が急務！

ASP商談システムで解決できること

1. 写真付き自社商品データベースが完成し、いつでも情報を検索できる。
2. 完成したデータベースを活用して、得意先向けの商品提案書やチラシなど販促ツールが簡単に作成できる。
3. 商談システム上で得意先に向け、いつでも自社の全取扱商品情報を検索してもらうことができる。

売り手企業の一例（総合卸・専門卸など）

すでに334社から「ぜひ、自社の「営業支援システム」として活用したい」といった声が多数寄せられています。



営業部Aさん

自社商品データベース検索

営業部Bさん

提案書

営業部Cさん

オススメ商品チラシ

営業部Dさん

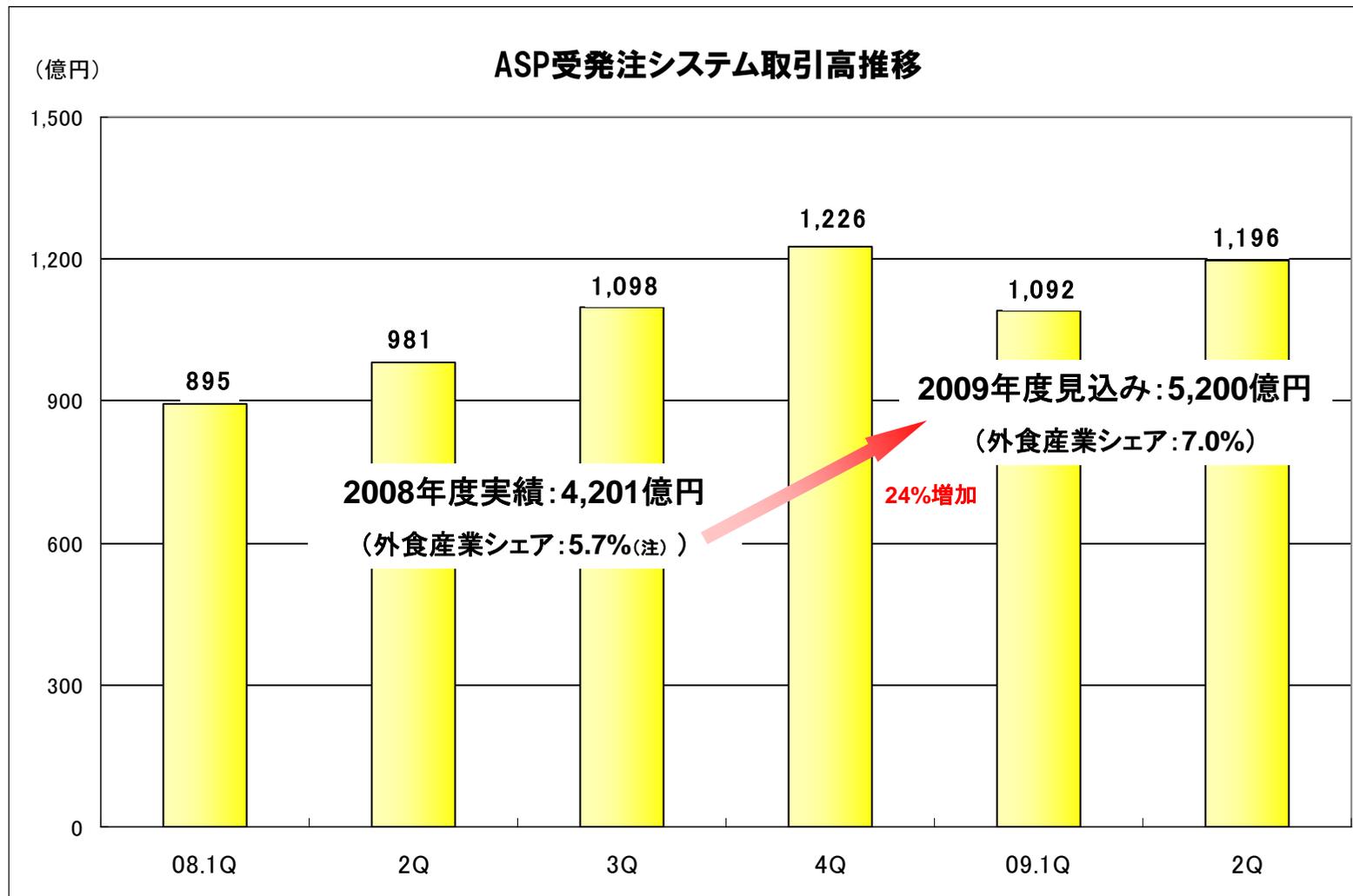
新商品カタログ

営業部Eさん

社内全員で自社システムとして利用できる仕組みに進化いたしました！

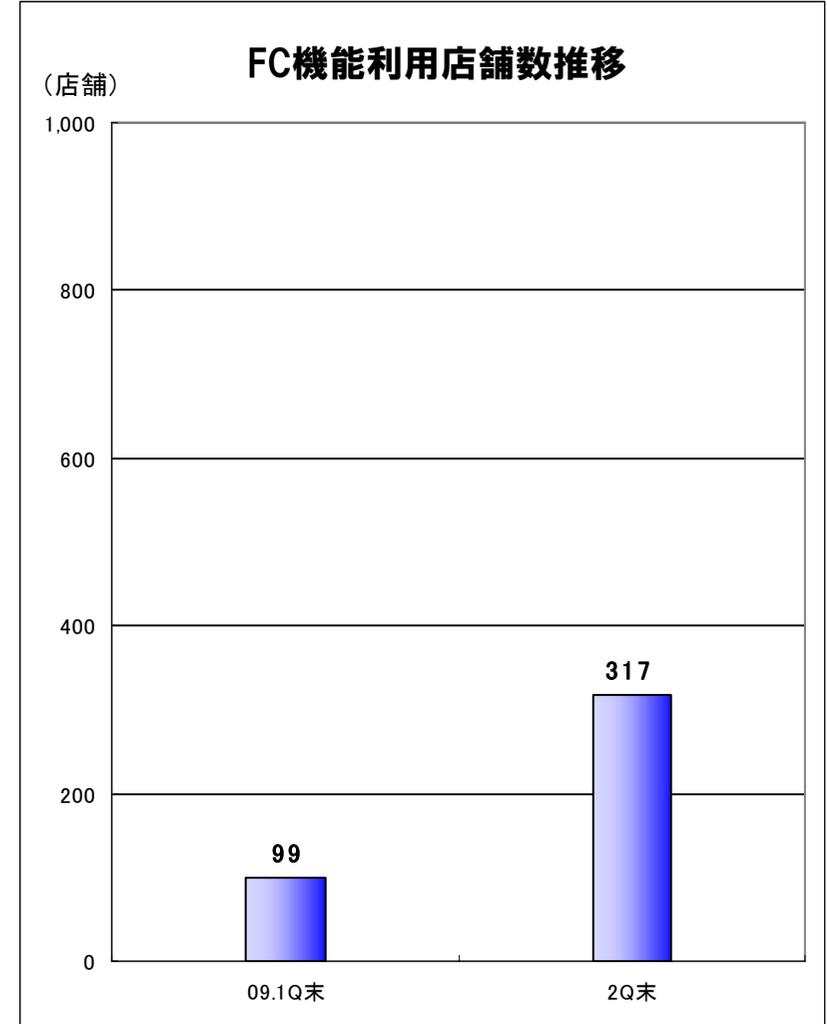
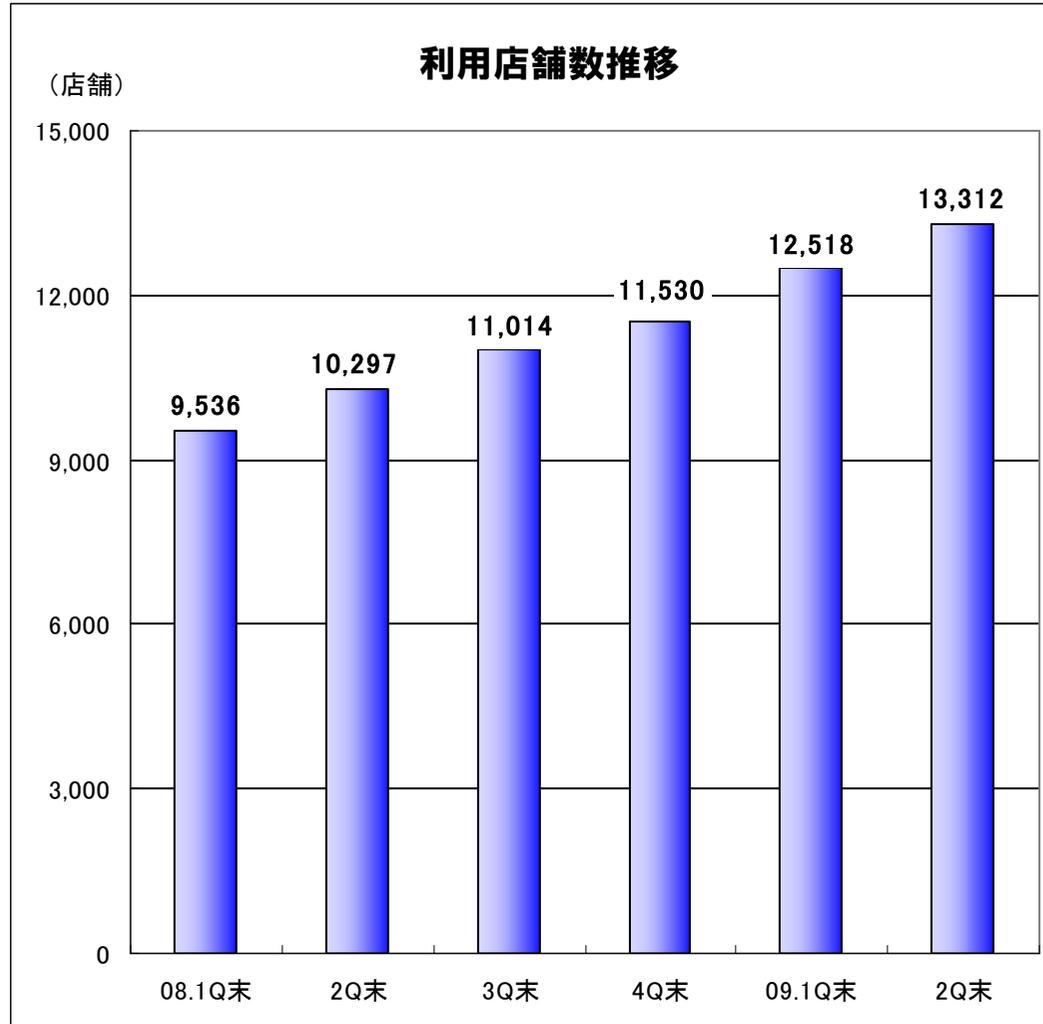
商品を選択し、ボタンを押すだけで簡単に販促ツールが出来上がります

第2四半期末、買い手企業605社・売り手企業14,478社、システムの利用拡大が続く

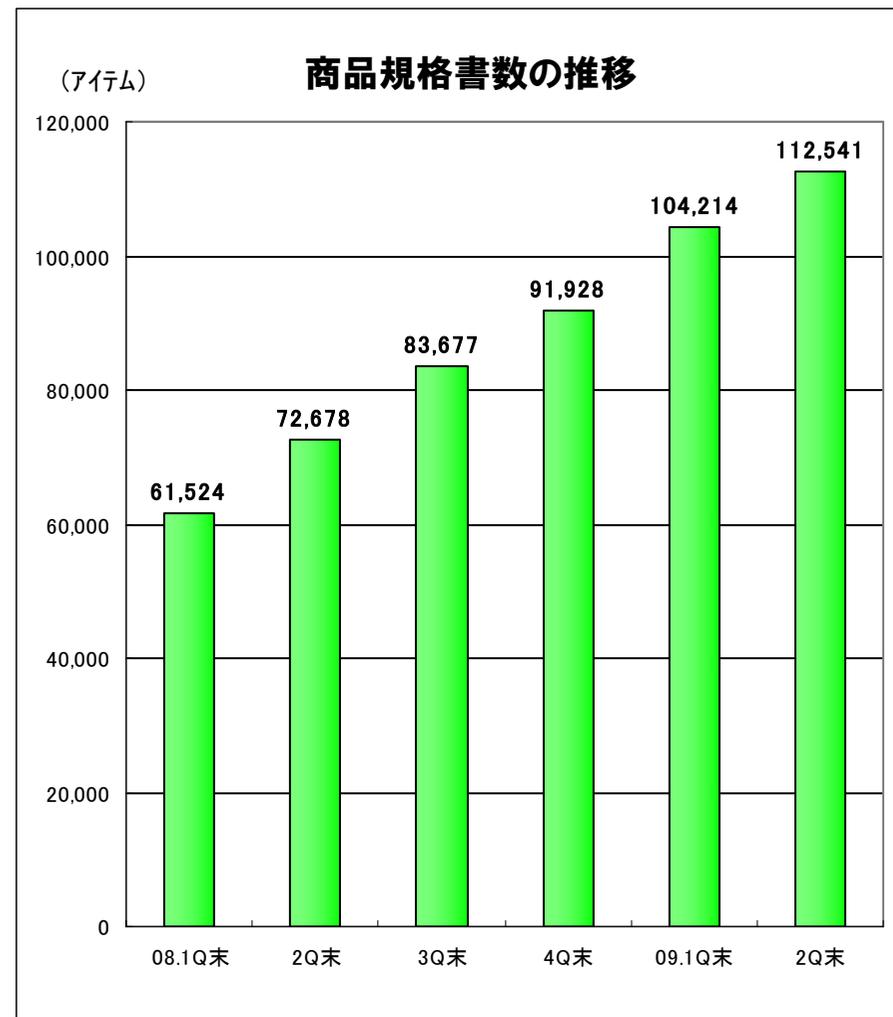
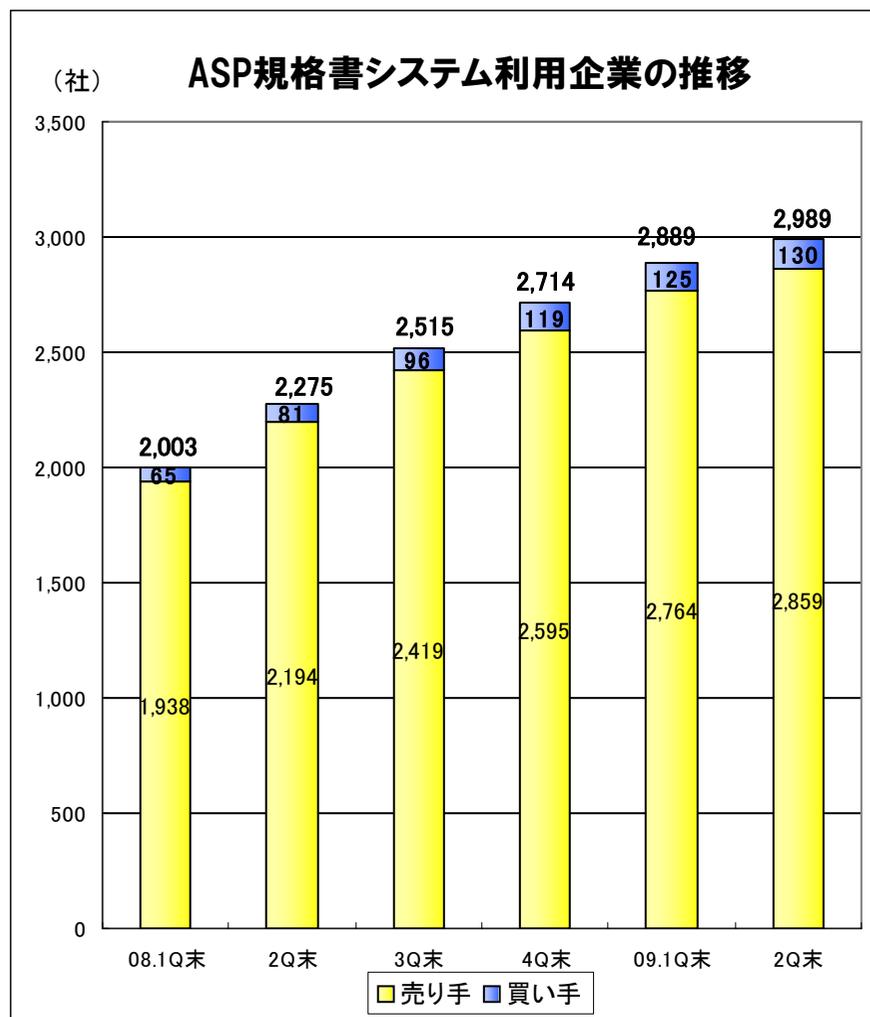


(注)2007年外食産業市場規模、24兆7,009億円(外食産業総合調査研究センター データより)から仕入金額を30%の前提で計算すると7兆4,103億円となり、当社2008年度取引高4,201億円は5.7%にあたります。(当社計算による)

買い手企業の順調な新規稼動に伴い、利用店舗数が増加
今年度からのFC(フランチャイズ)機能も貢献



食の安心・安全の取組みとして必須となった「商品規格書」
そのデータベースが構築できるシステムとして利用拡大



「自社商品規格書管理システム」としてご利用いただける仕組みへ全面リニューアル

規格書対応業務における根本的な課題解決が必要！

業界における規格書情報に関する課題

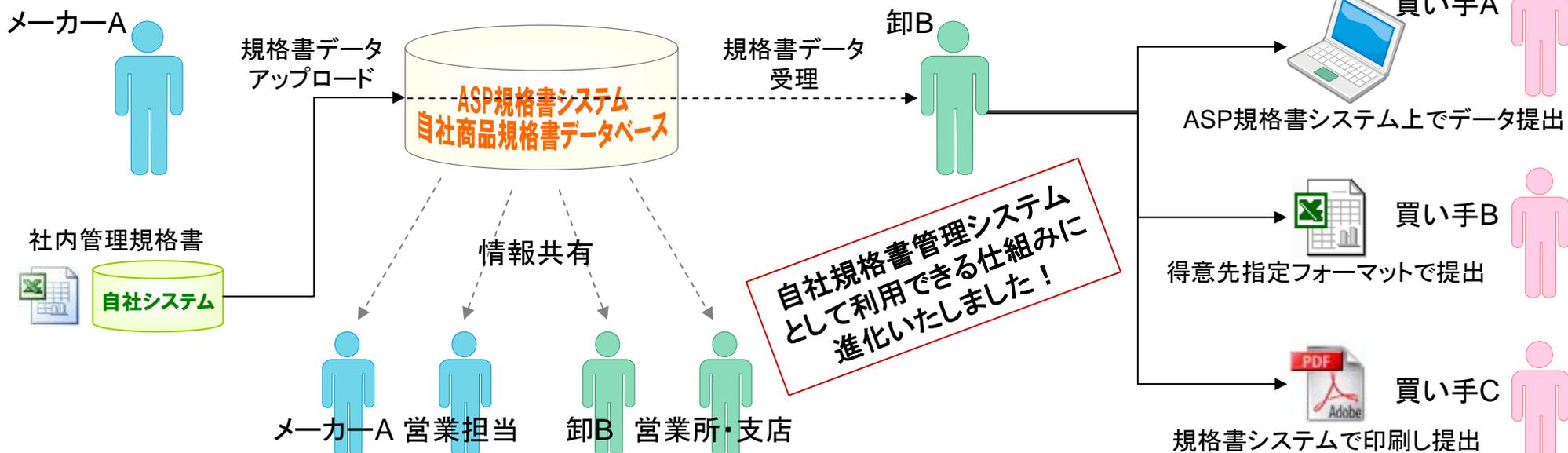
メーカーは、業界全体の安心・安全への対応における高まりを受け、規格書情報の提出業務が煩雑化。

総合卸は、得意先(買い手)から規格書提示の要望が高まり、メーカーと買い手の間にはさまれ業務が煩雑化。

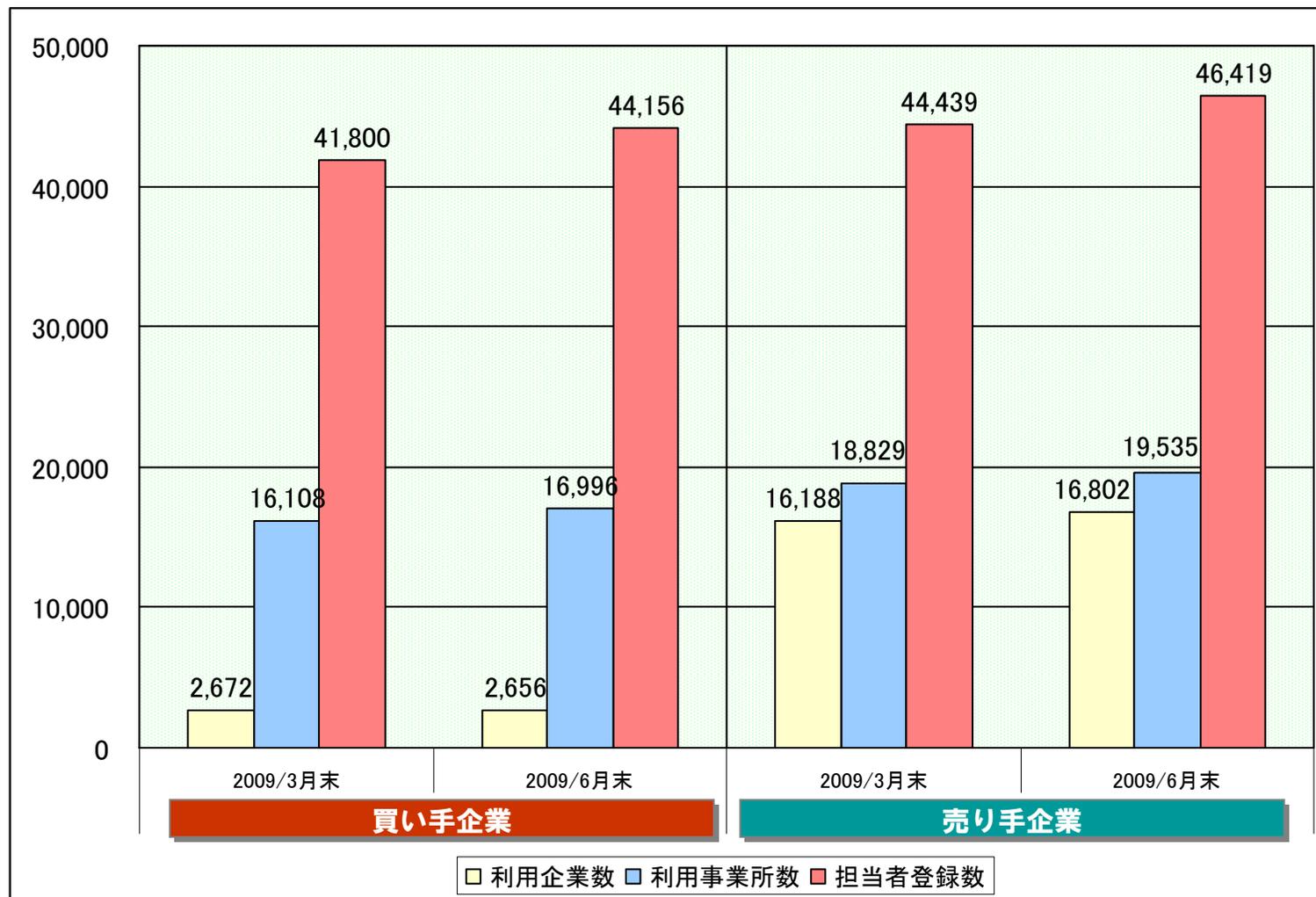
買い手企業は、速やかに正しい規格書を回収したい。

ASP規格書システムで解決できること

1. メーカーが自社管理している規格書をアップロードでき、規格書作成の業務負担を大幅に軽減でき、卸や買い手への提出のスピードアップが図れる。
2. 規格書の提出・提出管理・社内共有ができる自社規格書管理システムとして活用できる。
3. 規格書システム以外の得意先への提出も、規格書システムから得意先指定フォーマットに抽出できる。

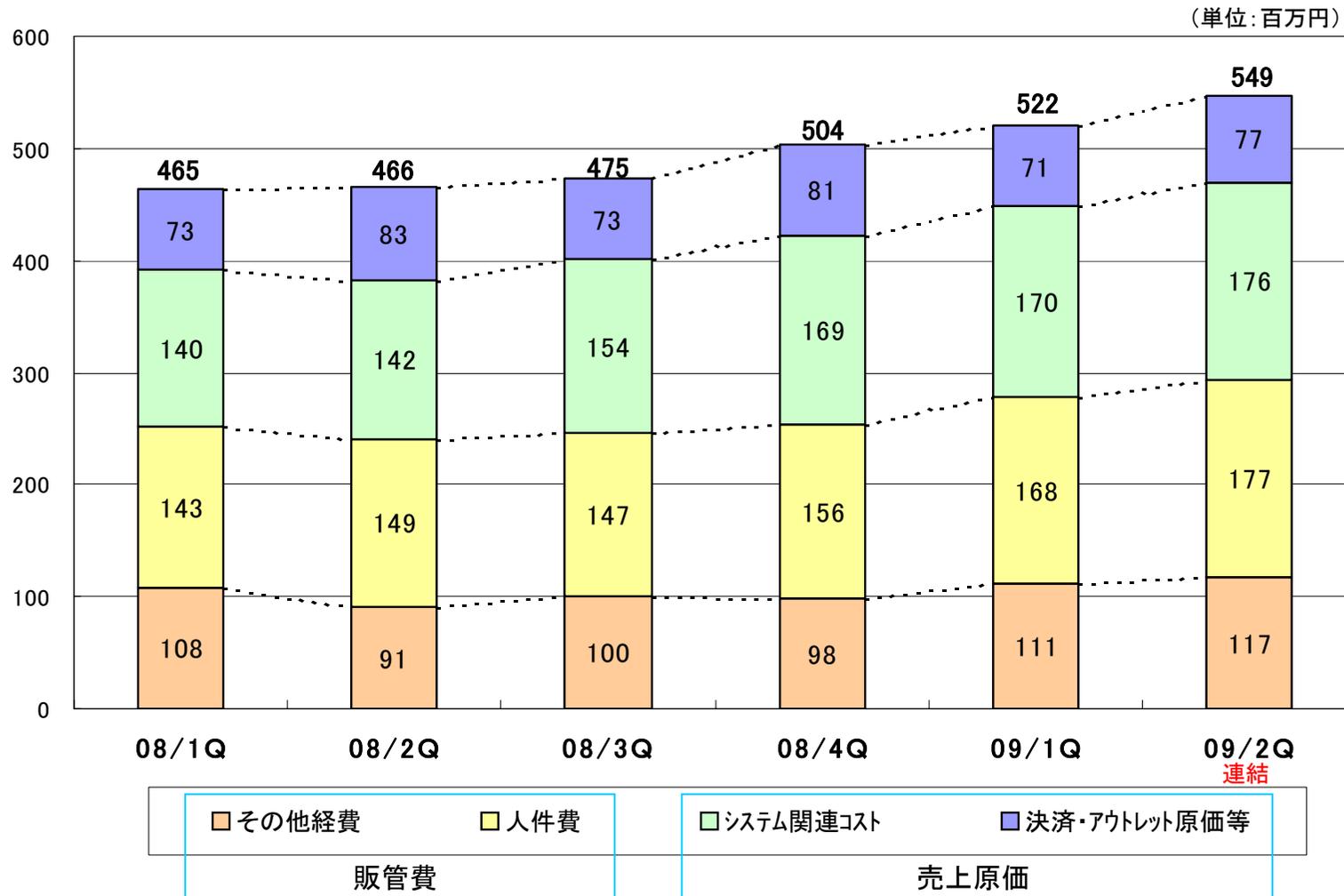


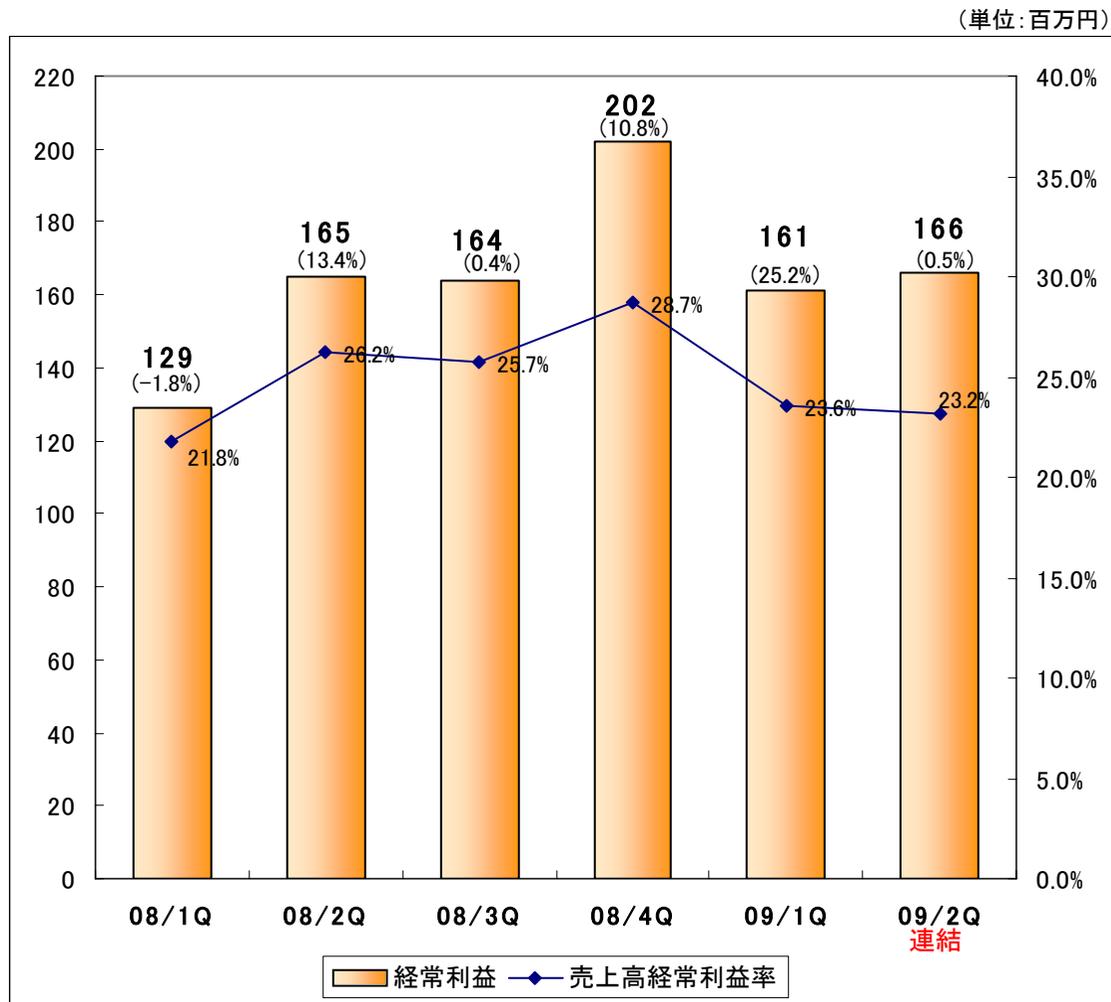
FOODS Info Mart のシステムは、導入企業様の事業部や各部門において、業務改善や生産性向上への取組みに活用いただいております。



2009年6月末現在、合計で19,458社、36,531事業所、90,575人の担当者にご活用頂いております。

開発強化によるソフトウェア償却費、営業増員による人件費が増加
 インフォマートインターナショナル設立費用が発生





(単位:百万円)

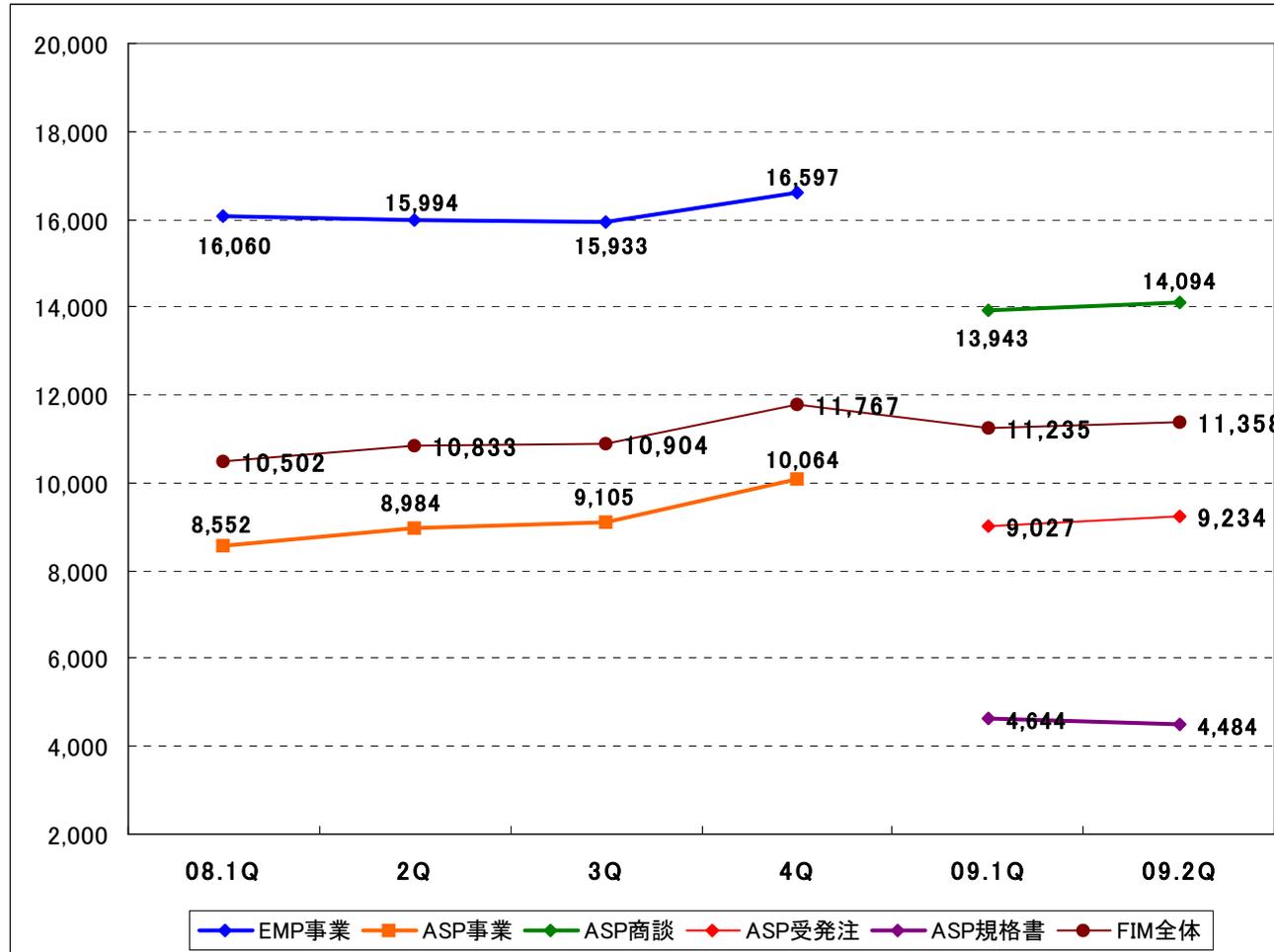
	08/12 2Q 単独	09/12 2Q 連結	増減率	08/12 上期 単独	09/12 上期 連結	増減率
営業利益	164	166	1.2%	292	328	12.2%
経常利益	165	166	0.5%	294	328	11.3%
当期純利益	96	96	0.0%	171	191	11.4%

第2四半期の経常利益は、インフォーマット単独では、ASP受発注及び規格書システムの利用企業数拡大によるシステム使用料の増加が、システム関連コスト、人件費等のコスト増を吸収し、前年同期比で増加となりましたが、

インフォーマットインターナショナルの設立費用の発生により、連結ベースでは、前年同期の単独経常利益と同水準となりました。

※カッコ内%は前年同期比の増減率です。

(単位:円)



2Qの全体ARPUは、対1Qより123円上昇しました。主な要因は次の通りです。

- ・ASP受発注システムの既存売手がASP商談システムの利用を開始し、売手企業数が純増
- ・ASP受発注事業の従量制売手企業の単価が、取引増により上昇
- ・ASP規格書システムの利用拡大

FIM全体ARPU
中期目標
16,000円

2009年度より月額顧客単価(ARPU)は、従来の2事業から3事業で表示する方法となりました。

四半期平均売上高(注) ÷ 四半期平均利用企業数の全体数で計算しております。

尚、FIM全体の計算方法は従来通りです。

(注)商談事業のアウトレット取引は、売上総利益で計算

当第2四半期累計期間は、減益予想に対し、増益の結果となりました

◆業績予想

(単位:百万円)

		2009/12期					
		2Q累計(予想)		2Q累計(実績)		通期(予想)	
		金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比
売上高	ASP商談(前EMP)	560	4.4%	527	-1.8%	1,218	14.1%
	ASP受発注(前ASP)	781	24.4%	793	26.3%	1,649	20.0%
	ASP規格書(前ASP)	85	45.5%	78	34.3%	199	56.9%
	合計	1,427	16.6%	1,399	14.4%	3,067	19.4%
営業利益		269	-7.7%	328	12.2%	721	9.5%
経常利益		269	-8.6%	328	11.3%	720	8.8%
四半期/当期純利益		156	-8.9%	191	11.4%	417	7.7%

(第2四半期累計業績の予想と実績の差異)

・ASP商談事業の売上高は、予想比マイナスとなりましたが、第2四半期で利用企業数が純増に転じたこと及び7月のシステムリニューアルによる新規数の増加、定着率向上で通期予想の達成を図ります。

・ASP受発注事業の売上高は、新規稼動が順調で利用が拡大し、システム使用料収入が予想を上回りました。

・ASP規格書事業の売上高は、予想比マイナスですが、7月のシステムリニューアル、9月の料金改定で通期予想をクリアする見込みです。

・利益面は、前年同期比減益予想に対し、増益の結果となりました。主な要因は、インフォマート単独の保守的に見込んでいた販管費が未発生となったこと及び子会社インフォマート北京コンサルティングの設立が8月になったため、設立費用の一部が、第3四半期にずれ込んだことによるものです。

以上から、「通期予想」は変更をしております。

通期の業績予想は、前回公表(2009年2月12日)と変更ありません。

(注)本第2四半期より子会社「株式会社インフォマートインターナショナル」の設立に伴い、連結決算として開示しております。上記の前年同期比は、前年同期の単独決算と比較した参考数値です。

◆FOODS Info Mart 利用企業数予想

(単位:社)

	2008/12期末 (実績)	2009/12期末 (予想)	増加数
売り手企業数	15,675	17,100	1,425
買い手企業数	2,707	2,900	193
FIM全体利用企業数	18,382	20,000	1,618

期末の利用企業数予想は、前回公表(2009年2月12日)と変更ありません。

増収増益予想、基本配当性向50%の継続により増配**■ 1株当たり配当金予想**

(単位:円)

	2008／12期 実績	2009／12期 予想	前期比
中間配当	2,840	3,000	+160
期末配当	2,840	3,000	+160
年間合計	5,680	6,000	+320
1株当たり当期純利益	10,716.54	12,000.00	+12.0%

※2009/12期中間配当は、2009年7月28日開催の取締役会で決議いたしました。

(効力発生日:2009年8月31日)

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績の向上及び財務体質の強化を図りつつ、業績に応じた成果の配分(基本配当性向50.0%)を継続的に行うことを配当政策の基本方針としております。



Ⅲ. 2009年12月期の計画

[重点施策]

- **3システムが整った「FOODS Info Mart」の本格的な成長期の開始**
 - 「ASP商談システム」・・・ 既存取引先をつないでむすぶことに注力
 - 「ASP受発注システム」・・・ FC機能、ホテル・旅館機能であらゆる業態に対応
 - 「ASP規格書システム」・・・ システムバージョンアップによる業界標準化への加速
- **「FOODS Info Mart」の海外展開の開始**
2009年5月を目処に海外子会社「Infomart International」を香港に設立

[事業テーマ]

- **「日常業務」「業界標準化」**
企業間で行われる日常業務での「FOODS Info Mart」の活用を推進し、業界標準化を目指す

[事業の変更]

- **「EMP事業」「ASP事業」の2事業体制から、
「ASP商談事業」「ASP受発注事業」「ASP規格書事業」の3事業体制へ**
(2009年1月より)

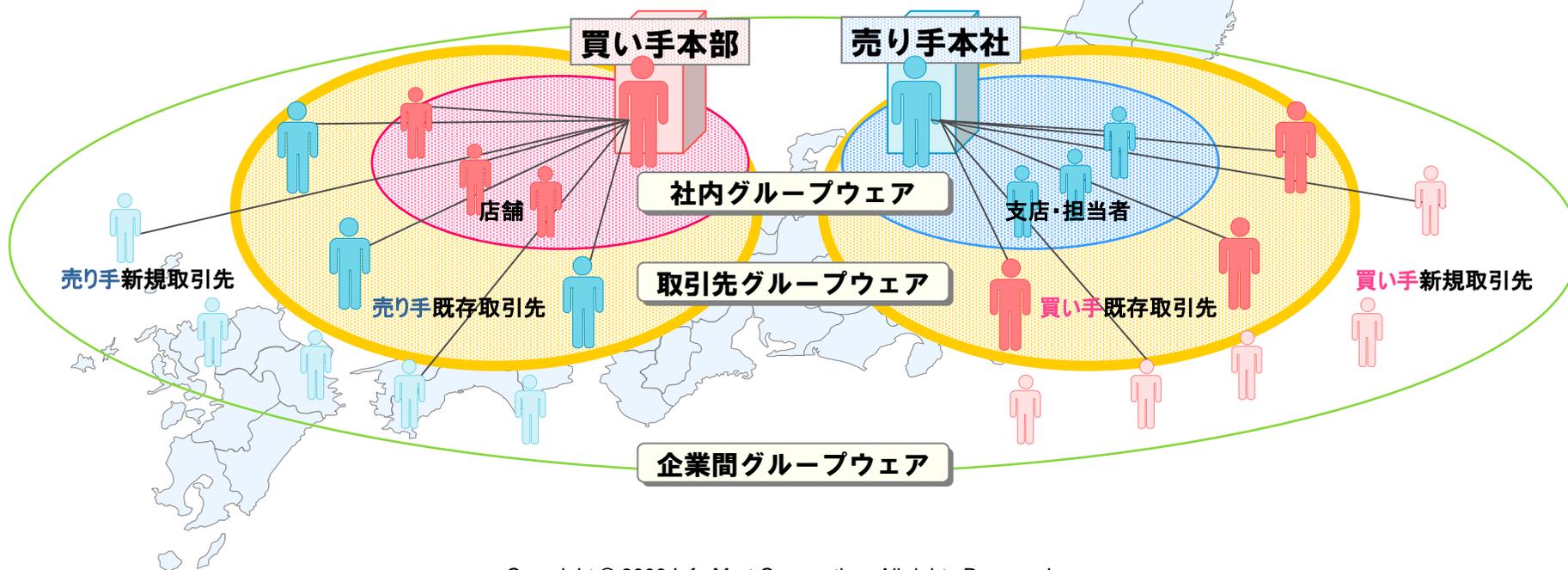
既存取引先も新規取引先も「つないで」「むすぶ」に注力します。

[営業体制の変更]

弊社営業力及びサポート力を強化すべく、エリア制の営業部へ変更いたしました。

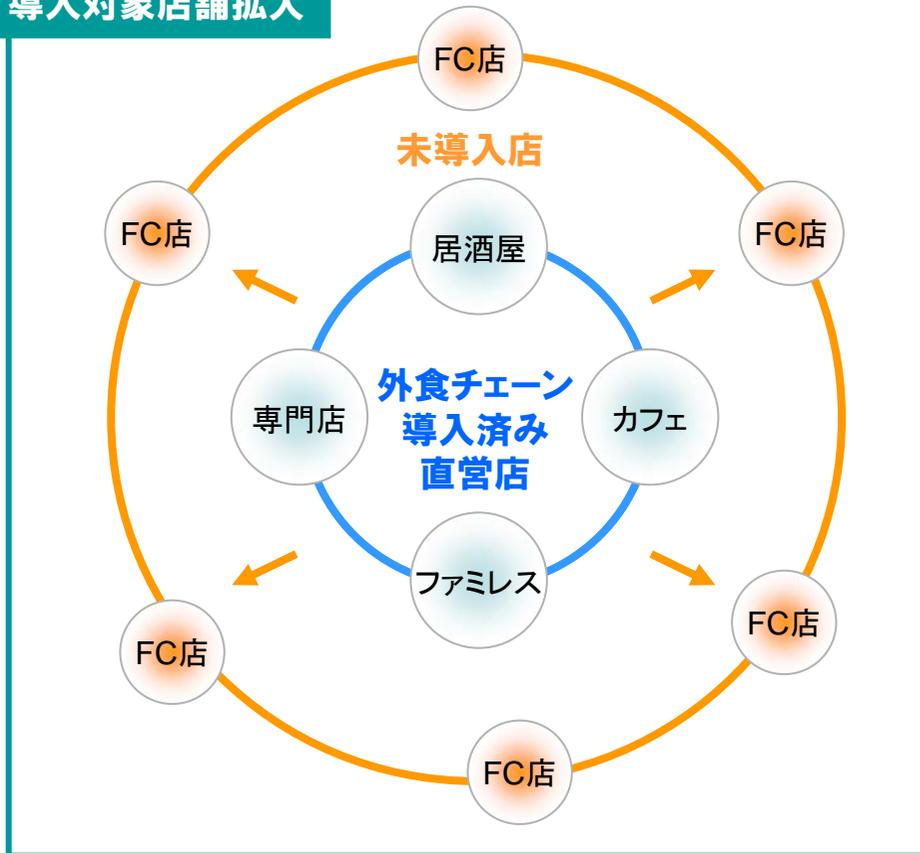
[導入促進の変更]

新規取引先との活用強化から、社内→既存取引先→新規取引先の順で活用強化していきます。

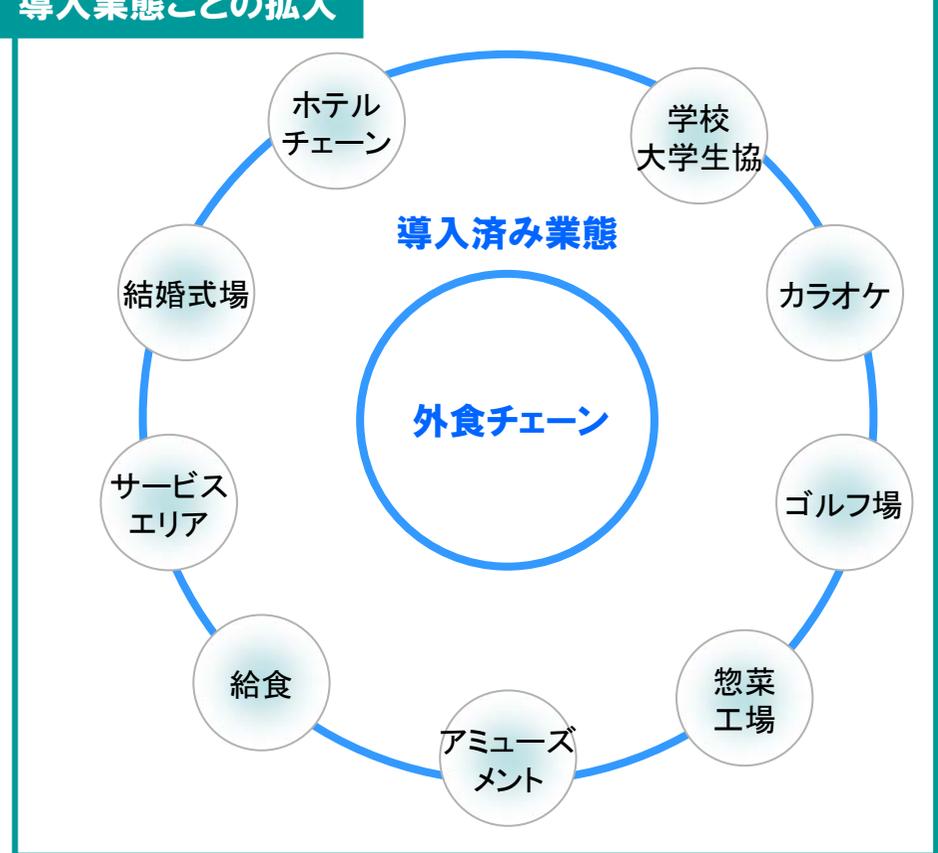


FC向けの機能も開始、導入店舗・業態の拡大を図ります。

導入対象店舗拡大



導入業態ごとの拡大

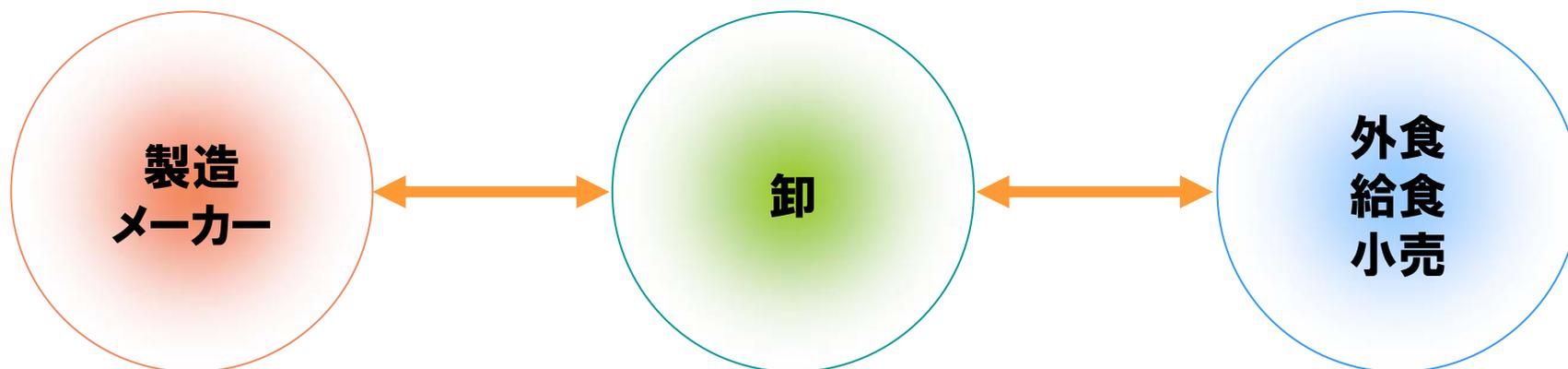


「ASP受発注システム」の中期目標:「2+8=10目標」

～目標買い手店舗数:2万店舗 + 目標年間受発注取引高:8,000億円(外食産業全体の10%シェア)～

(注)2007年外食産業市場規模、24兆7,009億円(外食産業総合調査研究センター データより)から仕入金額を30%の前提で計算すると7兆4,103億円となり、当社2008年度取引高4,200億円は5.7%にあたります。(当社計算による)

システムバージョンアップにより、業界標準化に向け加速します。



業界全体で、食の安心・安全を確保



消費者ニーズへ素早く対応



IV. FOODS Info Martの海外展開

■ Infomart International Limited

(1)	商号	易安網絡交易國際有限公司
(2)	代表者	董事長 米多比 昌治 (当社専務取締役)
(3)	所在地	Level28, THREE PACIFIC PLACE, 1 QUEEN' S ROAD EAST, HONG KONG
(4)	設立 / 決算期	2009年5月 / 12月
(5)	資本金	2,400万香港ドル [約3億円]
(6)	事業の内容	海外におけるフード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「FOODS Info Mart」のライセンス販売
(7)	役職員数	5名 (2009年7月現在)
(8)	株主構成および所有割合	株式会社インフォーマート 66.7% 三井ベンチャーズ 33.3%

■ Infomart (Beijing) Consulting Limited Company

(1)	商号	易安天下(北京)咨询有限公司
(2)	代表者	董事長 米多比 昌治 (当社専務取締役)
(3)	所在地	中国北京市宣武区南滨河路23号1号楼1101室
(4)	設立 / 決算期	2009年8月(予定) / 12月
(5)	資本金	100万USドル [約1億円](予定)
(6)	事業の内容	中国におけるフード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「FOODS Info Mart」のコンサルティングサービス
(7)	役職員数	2名 (予定)
(8)	株主構成および所有割合	Infomart International Ltd 100%

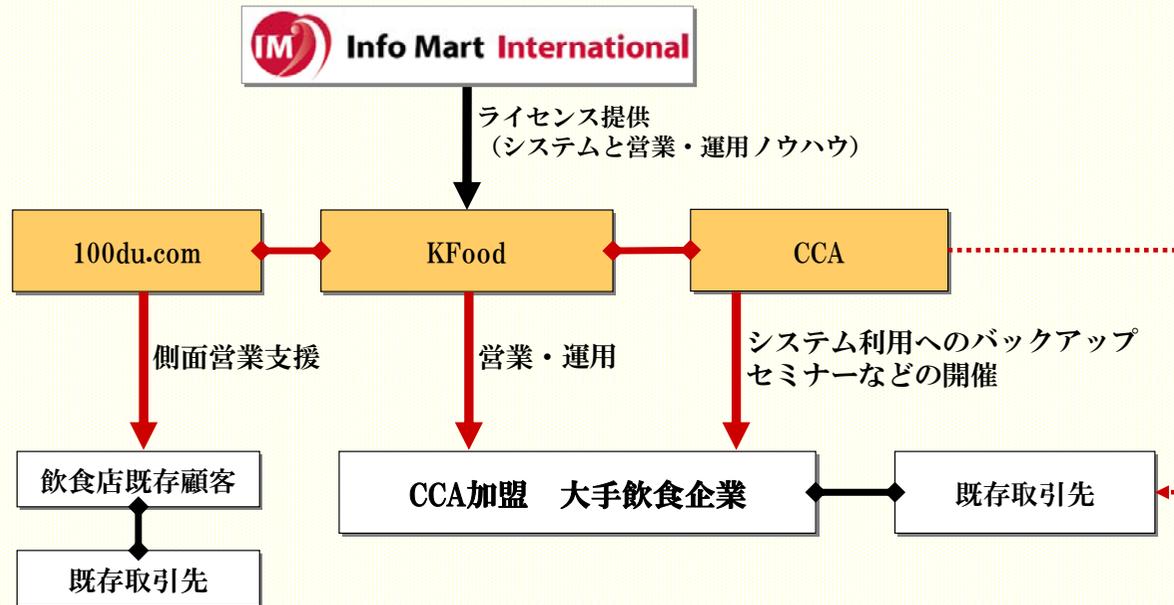
中国FOODS Info Mart事業が中国料理協会の支援を受け7月より本格始動！



中国でのFOODS Info Mart運営企業「Kfood」とは・・・

5万2千社以上の会員企業を有し、中国政府より飲食業界の管理を委託されている中国最大の料理協会団体である中国烹饪协会(略称CCA)と、飲食店情報提供サイトを運営する北京卡拉互动科技有限公司(略称100du.com イーバイドウドットコム)による合弁会社です。

事業推進に向けた各社の関係図



2009年5月15日、中国北京市の人民大会堂にてフード業界電子商取引プラットフォームを開始するための調印式が、中国料理協会 協力の下、盛大に行われました。

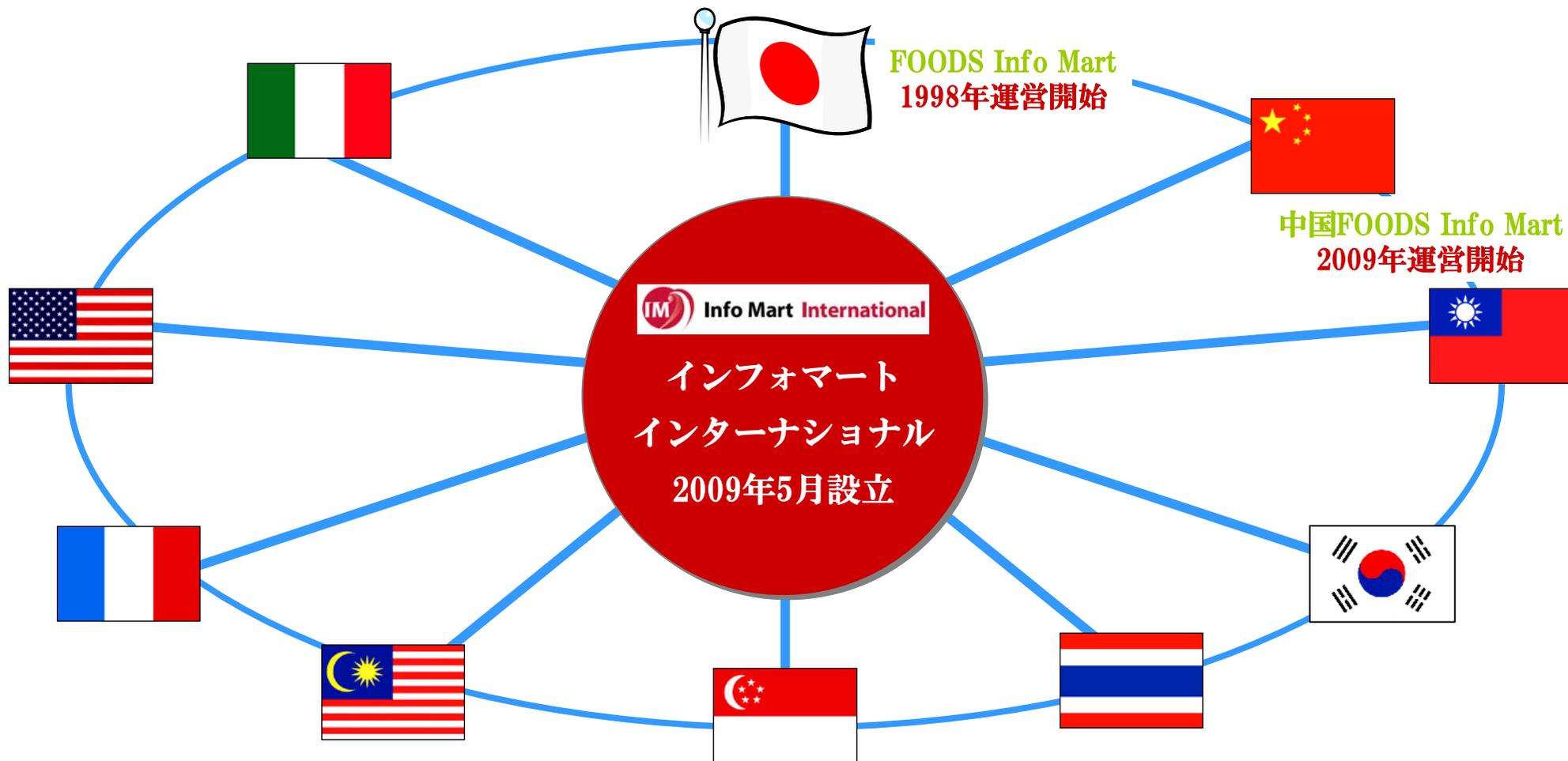
FOODS Info Mart のシステムライセンス販売により、 海外事業展開を行います。

システムライセンス販売の内容

1. 受発注システムによる 受発注業務インフラ整備
2. 商談システムによる 商談業務インフラの整備
3. 規格書システムによる 食の安心安全業務インフラ整備

日本発フード業界ASPシステム

～フード業界の業務改善となる業界共通システムの提供と、各国の情報発信・輸出入へ～



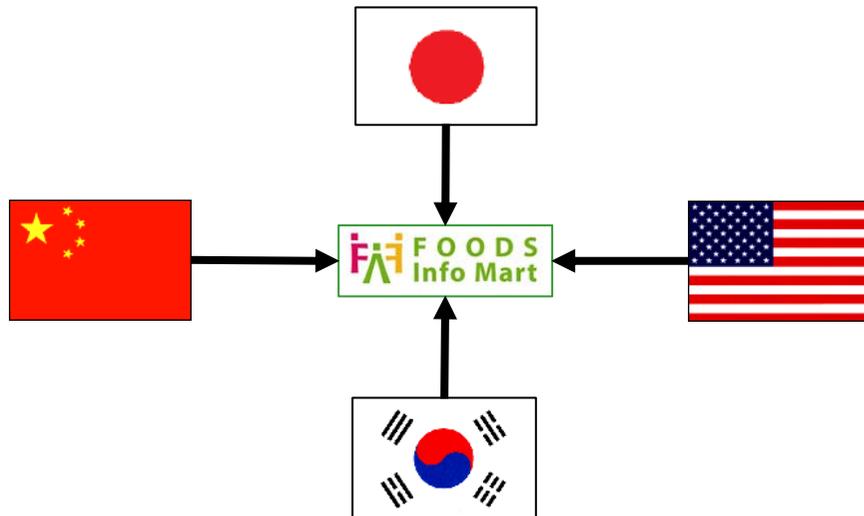
フェーズ1

各国での FOODS Info Mart 運用開始、業界共通システムの普及。



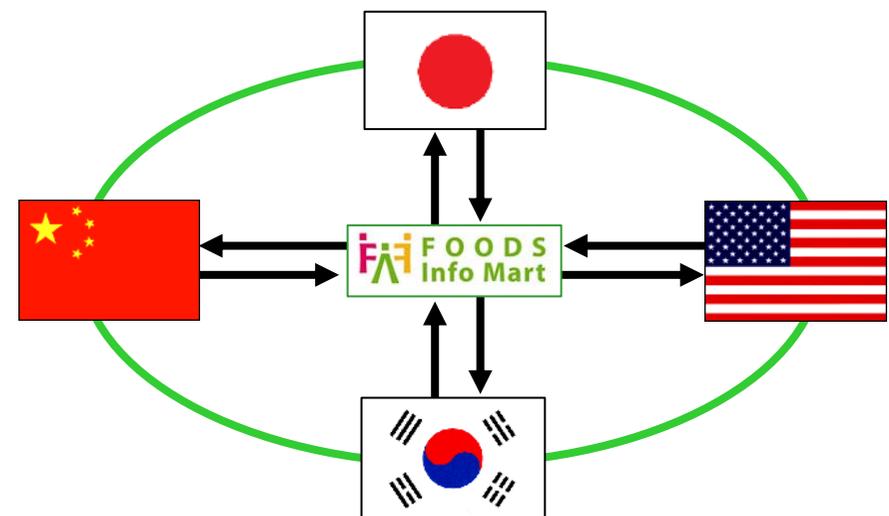
フェーズ2

各国の FOODS Info Mart から食の情報を発信。



フェーズ3

各国の FOODS Info Mart がつながり、輸出入を開始。



V. 補足資料

～ 日本中の食と食、企業と企業を結びつけ フード業界の発展に貢献 ～

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームでお客様同士、お客様と共に Win to Win collaboration を創出する

【会社概要】

(2009年6月末現在)

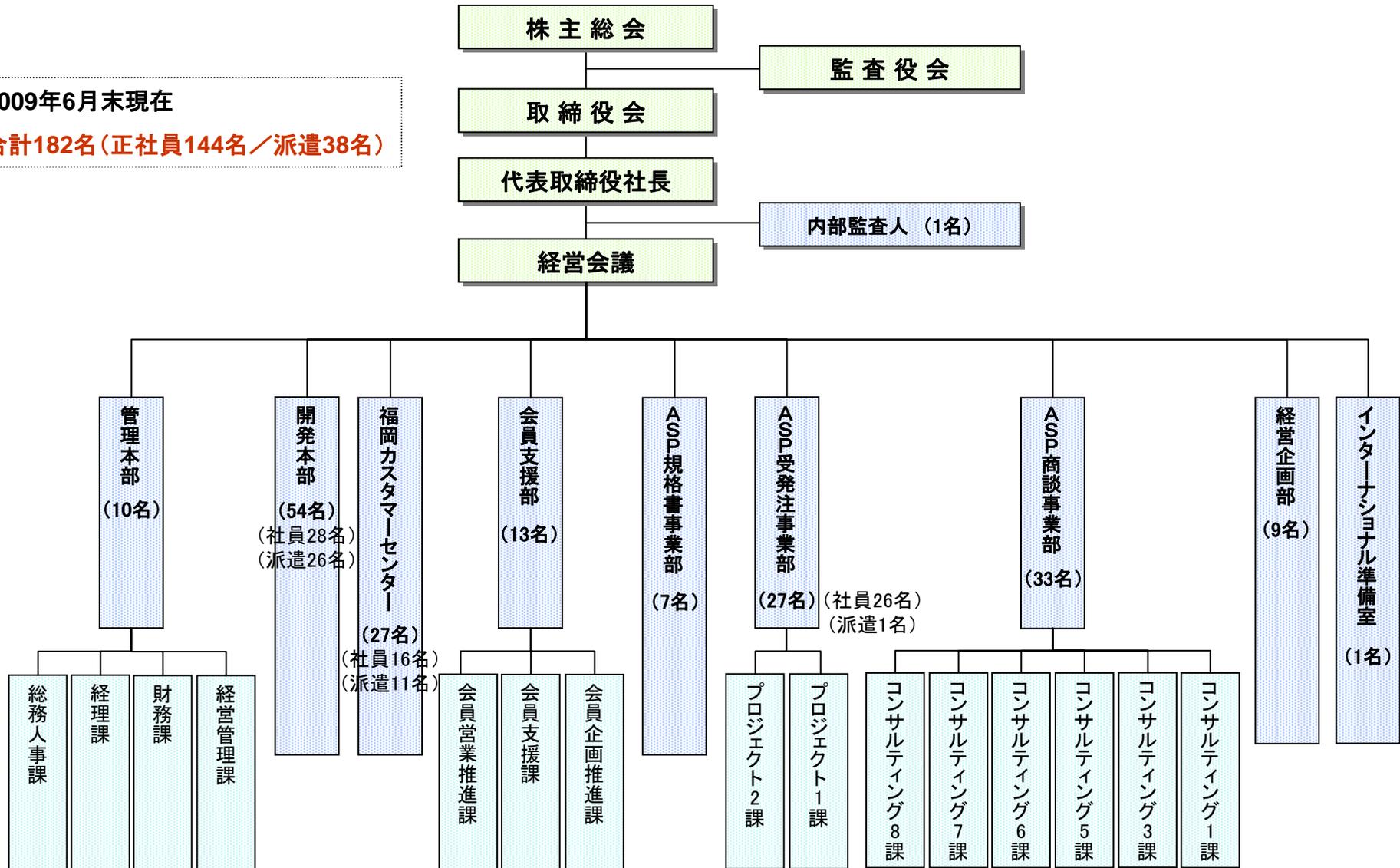
商号	株式会社インフォマート (Infomart Corporation)
代表取締役	村上 勝照
事業内容	フード業界企業間電子商取引プラットフォーム 「フーズインフォマート(FOODS Info Mart)」の運営
本社所在地	東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル
設立	1998年2月13日
営業所	福岡カスタマーセンター
資本金	10億120万円
従業員数	182名(正社員144／派遣38)
主要取引銀行	(株)三菱東京UFJ銀行(浜松町支店) (株)みずほ銀行(赤坂支店)
共同事業先	(社)日本フードサービス協会、(社)日本セルフ・サービス協会

【沿革】

1998年 2月	会社設立
1998年 6月	「食品食材市場」のサービス開始
2000年 6月	社団法人日本フードサービス協会と外食産業向 JF FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2000年11月	「決済代行システム」のサービス開始
2001年 6月	「アウトレットマート」のサービス開始
2001年 7月	社団法人日本セルフ・サービス協会と小売業界向 JSSA FOODS Info Mart事業の共同事業開始
2003年 2月	「ASP受発注システム」のサービス開始
2005年 4月	「FOODS信頼ネット」のサービス開始
2005年 4月	「WEB購買支援システム」のサービス開始
2006年 1月	「食材甲子園」のプロジェクト開始
2006年 8月	東京証券取引所マザーズ市場へ上場
2006年 9月	「外食応援団」のサービス開始
2006年 9月	「ASP受発注システム アライアンスパートナー制度」の開始
2007年 6月	「WEB販売支援システム」のサービス開始
2007年 7月	「ASP商談システム」のサービス開始
2008年 3月	「FOODS信頼ネット」を「ASP規格書システム」に名称変更
2008年 4月	新「ASP商談システム」のサービス開始
2009年 5月	子会社「Infomart International」設立

2009年6月末現在

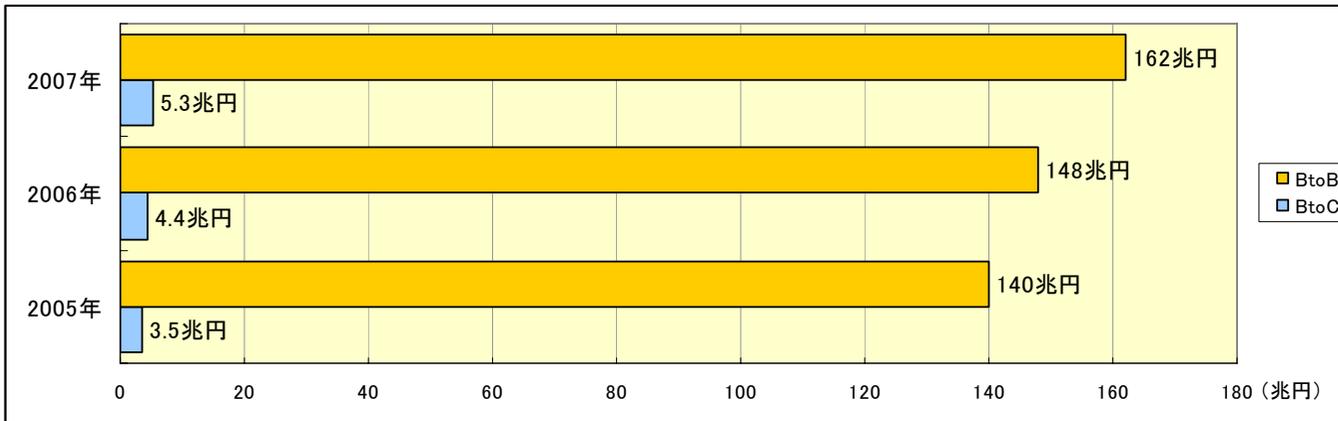
合計182名(正社員144名／派遣38名)



■ 市場規模の違い 株式会社インフォマートの事業は BtoB ビジネスです

BtoB と BtoC の市場規模

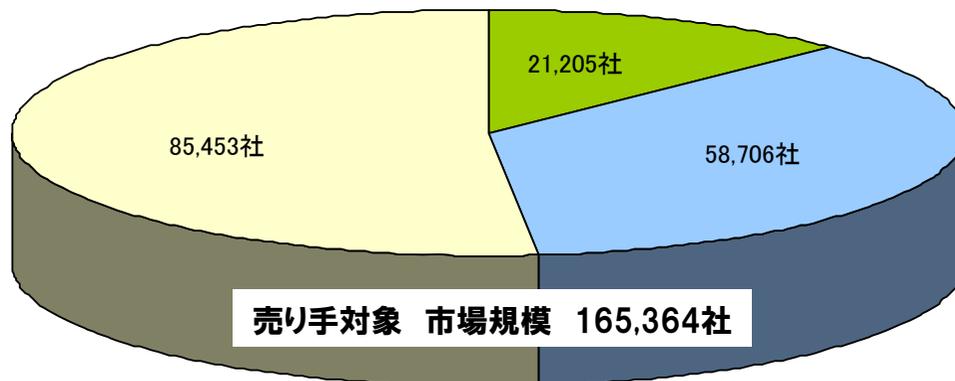
※参考 経済産業省 「平成19年度我が国のIT活用に関する調査研究」より



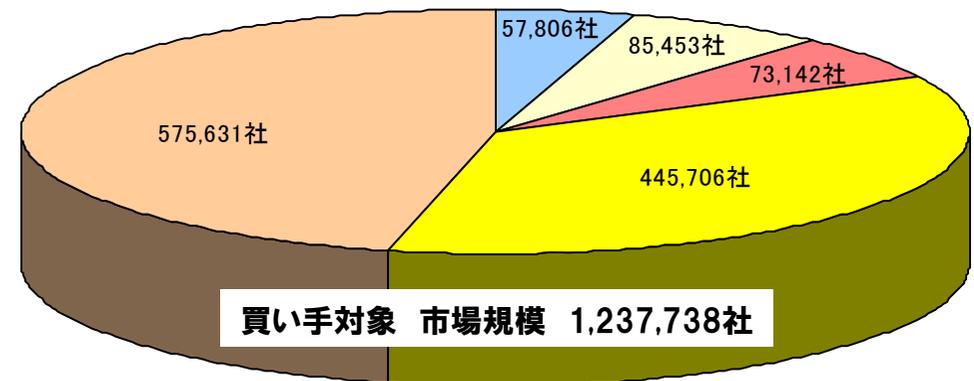
BtoB市場はBtoC市場の約31倍の市場規模です

■ 市場規模 サービスの利用対象企業は140万社です

■ 農・畜・漁業 ■ 製造業 ■ 卸売業



■ 製造業 ■ 卸売業 ■ 旅館・ホテル・レジャー ■ 小売業 ■ 外食



買い手企業



社内グループウェア

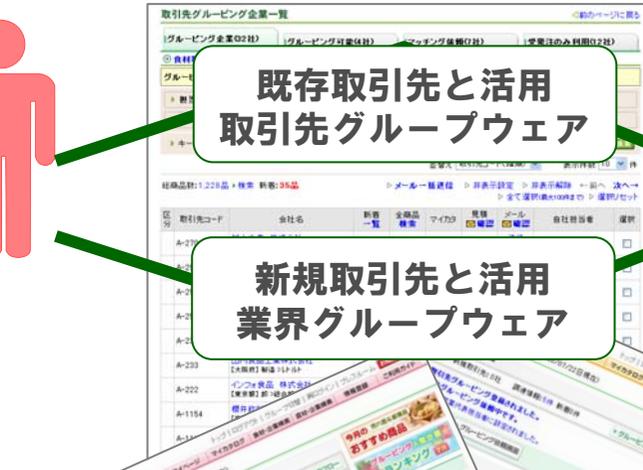
既存取引先と活用
取引先グループウェア

新規取引先と活用
業界グループウェア



売り手企業

社内グループウェア



提案募集

サンプル依頼

見積書

比較検討

購買に営業に

毎日使える豊富なツール

見積提出

取引履歴

商品案内

カタログ印刷

ダウンロード

予定表

取引年表

PDF



買い手企業



受発注～請求まで
既存取引先と活用



売り手企業

発注

納品日指定・納品日未入力にて「納品日指定」をクリックして下さい。

納品日指定方法

納品日指定方法

納品日指定方法

検品・受領

受領する数量と検品チェックを行い、検品して数量が異なる場合はチェックを行います。

検品・受領

検品・受領

買掛確定・支払通知

買掛確定・支払通知

買掛確定・支払通知

棚卸高

棚卸高

棚卸高

ダウンロード

ダウンロード

ダウンロード

発注に受注に

毎日使える豊富なツール

発注に受注に

毎日使える豊富なツール

マスター登録・単価変更

マスター登録・単価変更

マスター登録・単価変更

受注・発送

受注・発送

受注・発送

納品書発行

納品書発行

納品書発行

仕入年表

仕入年表

仕入年表

請求書発行

請求書発行

請求書発行

商品別売上一覧

商品別売上一覧

商品別売上一覧

買い手企業



取引商品の安全確認に
既存取引先と活用



売り手企業

提出状況確認

規格書の提出状況を確認することができます。

買い手企業種別
期日先決定
検索
提出状況確認

提出状況確認

No.	提出日	提出先	提出内容	提出状況
1	2007/07/26	2007/07/26	2007/07/26	提出済
2	2007/07/26	2007/07/26	2007/07/26	提出済

記入漏れチェック

規格書の記入漏れチェックを行います。

記入漏れチェック

取得・承認

取得・承認

各種検索

規格書の検索を行います。

各種検索

各種検索

規格書確認

規格書の確認を行います。

規格書確認

規格書確認

データダウンロード

商品名	部	乳	小	テ
1. イチゴ				
2. マンゴ				
3. バナナ				
4. りんご				
5. 梨				
6. 桃				
7. ぶどう				
8. 葡萄				
9. 柿				
10. かんきつ類				

取得に提供に
毎日使える豊富なツール

規格書登録

規格書の登録を行います。

規格書登録

規格書登録

未記入チェック

規格書の未記入チェックを行います。

未記入チェック

未記入チェック

提出

規格書の提出を行います。

提出

提出

規格書出力

規格書の出力を行います。

規格書出力

規格書出力

仕様変更通知

規格書の仕様変更通知を行います。

仕様変更通知

仕様変更通知

1.ASP商談システム	1. システム使用料 ・買い手企業 5,000円/月 ・売り手企業 25,000円/月
	2. アウトレット売上(商品売買による)

オプション機能	決済代行システム
---------	----------

2.ASP受発注システム	1.システム使用料 ・買い手企業 本部：18,000円/月、店舗：1,300円/月 ・売り手企業 定額制もしくは従量制を選択 定額制 28,000円/月、IID追加：800円/月 従量制 月額取引金額の1.1% (月額取引10万円未満の場合無料)
	2.初期費用(買い手のみ) 300,000円 ~ 1,000,000円
◆FC(フランチャイズ)機能	
1.システム使用料 ・買い手企業 本部：33,000円/月、店舗：1,800円/月	
2.初期費用(買い手のみ) 500,000円 ~ 1,100,000円	

システム使用料の売上比率 (2009/12期 第2四半期累計 実績)

- ◆売上全体の86%
- ASP商談事業：69%
- ASP受発注事業：96%
- ASP規格書事業：95%

3.ASP規格書システム	1.システム使用料 ・買い手企業 30,000円/月 ・売り手企業 月定額制もしくは従量制を選択 定額制 5,000円/月 従量制 1,000円 ~ 4,000円/月
	2. 初期費用(買い手のみ) 200,000円~1,000,000円
↓	
(2009年9月より 料金改定)	
1.システム使用料 ・買い手企業 30,000円/月 ・売り手企業 月定額制もしくは従量制を選択 定額制 5,000円 ~ 25,000円/月 従量制 1,000円 ~ 4,000円/月 変更	
2. 初期費用(買い手のみ) 200,000円~1,000,000円	

オプション機能	1. ASP売上日報システム
	2. 新決済システム
	3. アップロード機能

システム使用料 スtock型の収益モデル

※上記金額は税抜です。

2009年 タイトル記事 一覧

- 2009年 7月13日 〔日経産業新聞 1面〕 食材写真付き即カタログに
- 2009年 7月8日 〔日本食糧新聞 8面〕 「ASP規格書システム」全面リニューアル
- 2009年 6月22日 〔日刊水産経済新聞 6面〕 「ASP規格書システム」全面リニューアル
- 2009年 6月20日 〔新建まちづくり新聞 4.5面〕 13億の「食の安全」と「IT管理」を進める中国外食業界
- 2009年 6月8日 〔日経流通新聞 5面〕 食材データベース刷新 商品規格書 表記標準化で一元管理
- 2009年 5月22日 〔フジサンケイビジネスアイ 14面〕 有望中国皮切りに海外市場開拓
- 2009年 5月14日 〔日刊水産経済新聞 6面〕 中国で本格始動 インフォマート売上げ12億円目指す
- 2009年 5月8日 〔日本経済新聞 10面〕 インフォマート 三井物産 中国で電子商取引
- 2009年 4月3日 〔ニッキン 16面〕 「食材甲子園」21地域銀参加
- 2009年 4月1日 〔日刊水産経済新聞 6面〕 食品表示の注意点講演 インフォマート リスク管理セミナー
- 2009年 3月2日 〔日経流通新聞 2面〕 第2部 eリテール特集—ネット通販飛ぶ鳥落とす
- 2009年 2月24日 〔日刊水産経済新聞 6面〕 インフォマートのBtoBプラットフォーム「FOODS Info Mart」好評
- 2009年 2月12日 〔日刊工業新聞 6面〕 日立情報、インフォマートと協業
- 2009年 1月14日 〔株式市場新聞 3面〕 株の防人 Vol.63 インフォマート、フード業界を活性化
- 2009年 1月13日 〔商業施設新聞 イベント欄〕 「勝ち組になるセミナー3」
- 2009年 1月5日 〔外食レストラン 8面〕 インフォマート、FC受発注システム サービス提供開始
- 2009年 1月5日 〔生産性新聞 9面〕 活躍する個人～個による“強さ”の体現

2008年10月以降 タイトル記事 一覧

- 2008年 12月22日 〔THE BUYER〕 トップが語る卸し売りサイトの充実度
- 2008年 12月17日 〔日経流通新聞 15面:フードビジネス〕 規格外・珍魚をネット売買 漁業者と飲食店橋渡し
- 2008年 12月2日 〔冷食タイムス 3面〕 JF商談会 冷食メーカーの出展旺盛 外食に商品提案
- 2008年 11月24日 〔食品産業新聞 3面〕 パイヤー図商談会開く 農・畜・水産業との取り組み強調
- 2008年 11月24日 〔日本食糧新聞 5面〕 JF 野菜産地と交流 パイヤーズ商談会08
- 2008年 12月5日 〔新建まちづくり新聞 1面〕 県産品や地域食材をウェブで取引「食材甲子園」
- 2008年 11月28日 〔日本食糧新聞 3面〕 1月からスタート インフォマートの「FC本部受発注システム」サービス
- 2008年 11月28日 〔ニッキン 13面〕 インフォマート FC本部受発注システム
- 2008年 11月19日 〔日本食糧新聞 3面〕 新水産物流システム SCSSで業務提携 インフォマートと旬材得意分野を生かす
- 2008年 11月15日 〔食品工業12月15日号〕 特集～外食企業1万店舗が利用するシステムとは
- 2008年 11月15日 〔食品工業12月15日号〕 インフォマート、食覧会.COMサイトをスタート
- 2008年 11月1日 〔アクアネット11月号〕 受発注業務効率化サービスの利用企業が大幅増
- 2008年 10月26日 〔日本経済新聞〕 天職発見 Vol.48 売り手と買い手をつなぎ 食の新たな可能性を開く
- 2008年 10月14日 〔東京IT新聞〕 「食」テーマの展示会に特化 ポータル「食覧会.COM」開始
- 2008年 10月7日 〔カブケンWEB〕 社長インタビューVol.52 「FIMビジネスモデル」
- 2008年 10月7日 〔財界10/21号〕 広報の窓 「十年目のチャレンジ精神」
- 2008年 10月1日 〔関東経済産業局広報誌・いっとじゅっけん〕 急成長するサービスベンチャー 株式会社インフォマート

最後に・・・

本日は、誠にありがとうございました。

フード業界に特化した

企業間電子商取引(BtoB)プラットフォームで

業界標準化を目指します。

株式会社インフォーマット

代表取締役社長 村上 勝照

当資料に記載された内容は、2009年7月28日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により予告なしに変更される可能性があります。

投資に際しての最終的な判断は、お客様自身がなされるよう、お願いいたします。

本資料は株式会社インフォマートによって作成されたものです。